



6月の水遊び

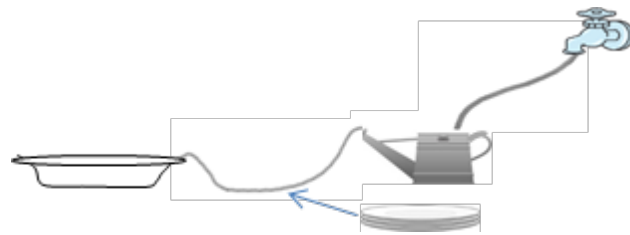
園長 山中文

外遊びが嬉しい時期になりました。子どもたちも、汗を流しながら遊びに励んでいます。

これから、水を使った遊びも多くなることでしょう。土や水は、子どもたちにとってとても大切な遊び道具です。外遊びの季節をぞんぶんに味わいたいですね。

ある幼稚園の自由遊びの時間のことです。年長の子どもたちが水道からたらいにホースで水を注いで溜めようと、とても熱中していたところに遭遇したことがあります。

なぜか、水道とたらいの間に
ジョウロを經由させていました。
まず、水道とジョウロをホース
でつなぎ、ジョウロの先には別
のホースをつけて手でおさえ、
そのホースをたらいに垂らしま
す。こうして、たらいになんとか水を溜めようとしていました。



ジョウロの先はジョウロの口より高い位置にあるので、水は先にジョウロの口からあふれてしまいます。どうするかと見ていると、子どもたちは、ジョウロの口を手や足でふさいでふたをして、ジョウロの先になんとか水を流れさせようとしてしました。水が少しジョウロの先に見えてくると、子どもたちは、その水をなんともうひとつのホースに集めようとしてしました。そして、少したらいに溜まってきました。

しかし、それでも手や足の隙間から水があふれます。そのあたりで、ジョウロの先からたらいに渡したホースがたらいより下に垂れているので、そのホースを上にあげればもっと水がたらいに流れることに気づきます。そして、そばにあるお皿をいくつか重ねてホース下において高くし、水の流れ具合を幾度も確かめたのでした。

たわいもない水遊びに見えます。しかし、子どもたちは、「試す→水栓を閉める→試す…」を繰り返しながら、水を流す工夫に夢中になっていました。そして、遊びの中で、自分たちなりに水の流れにどうやら高低差が影響するという発見をしていきました。このような遊びは、就学後に水の性質を学習する段階になって、学習に対する経験や意欲として生きてきます。

土や水で遊ぶ機会のご家庭も多いと思います。水の大切さを伝えなければいけないことはもちろんですが、一方で子どもたちにとって水は実際に触って遊ぶことが必要なものです。どちらの視点をも持って、子どもたちの遊びを見てみたいものですね。

